

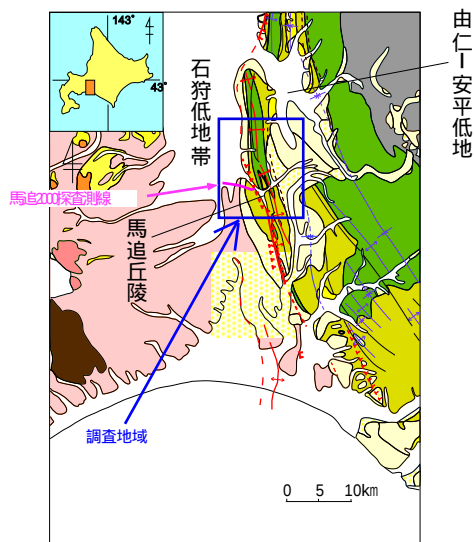


図17-(a)．調査地域および反射法地震探査測線

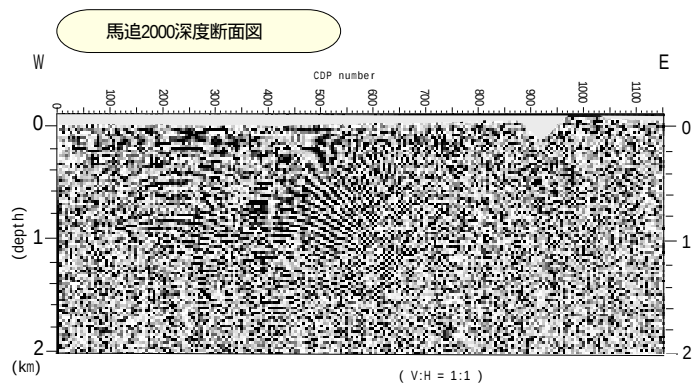


図17-(b)．浅層反射法地震探査（馬追2000）深度変換断面

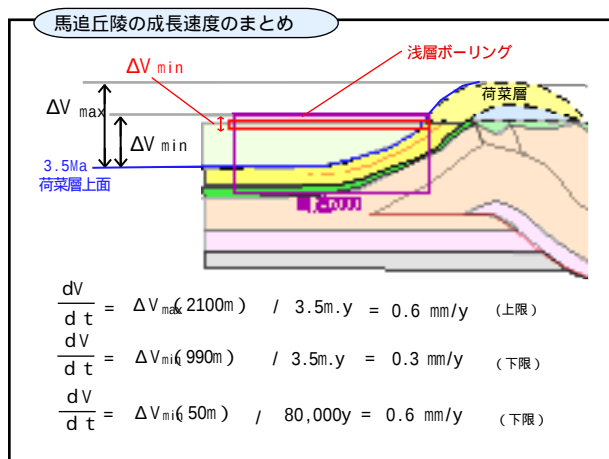


図17-(c)．馬追丘陵の隆起速度

丘陵軸部では地層が削剥されているため、数値に幅が生ずるが3.5Ma以降の平均では年0.3-0.6mm程度の隆起速度が推定される。道路公団の浅層ボーリング資料からは、8万年以降の最小値として0.6mm/年の値が得られる。

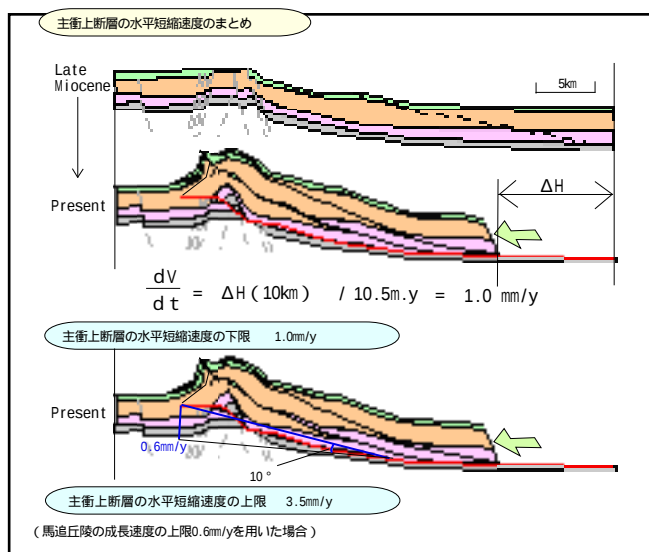


図17-(d)．主衝上断層の水平短縮速度

バランス断面図による解析では、馬追丘陵は3条の衝上断層のスタックによって構成されており、約10kmの水平短縮が達成されている。地層の年代から推定した最も東側の断層の開始時期は10.5Ma以降であるから、最低約年1mmの水平短縮が推定される。隆起速度と主断層の傾斜から推定される水平短縮速度は年3.5mmとなる。